

COMMORER LIFESTYLE CATALOG #14

Buddy • Garden • Hobby • Scenery • Others

「身体暖めて、心を繋いで(1)： 焼きいもとリース教室、住民を結ぶ試みのレポートです！」

コモアしおつか開設をして約35年、初期の頃から住まわれているコモア長老の方に伺うと、まだ住民が少なかった頃には住民同士の繋がりが密だったという話が良く聞かれます。同じ頃に入居し、子供が同じ幼稚園や小学校に通い、同じ駅から同じ電車で職場へ向かうという生活は、仲間意識が強くなつていくのも想像できます。昔はご近所で誘い合ってBBQをしたり、花見をしたりして楽しんだそうです。しかし、街が成熟するにつれてそんな街作り・仲間作りの熱も下火になって、アフターコロナとなった最近でも飲食を伴うイベントは少なくなりました。

そんな昨年の夏、某丁目の自治会ブロック会議の席で「焼きイモしませんか？」という意見が上がりしました。最近は安全第一で落ち葉焚き自体が少なくなりましたが、子供たちに焚き火の暖かさや、灰の中からイモを探し出す時のドキドキワクワクな気持ちを味わって貰いたいという提案でした。

楽しいことに積極的な某丁目のブロック委員有志が自治会長、シニアクラブ、懇親会などと折衝し、昨年は自治会協賛での開催が実現しました。今年も昨年のメンバーが中心となって自治会にお願いし、自治会後援の形で実施の運びとなりました。市役所、消防署、消防団、西小学校など関係者に趣旨説明して許可をお願いする人、竈と薪の準備をする人、イモに濡れた新聞紙を巻いてホイルで包む人、消火器を用意する人と手分けして準備を進めました。



某丁目のイモ焼きたい！隊員です

6日当日は青空が広がり、風も弱く絶好の焼きイモ日和！今年も火事対策でヘルプをお願いした巖地区消防団も消防車で臨場し、準備万端整いました。



巖消防団の皆さん、今年もよろしくお願いします！

朝8時から竈を整備し、9時に火入れスタート。今回は某丁目のベテランの他に焚き火マニアの市内住民もボラ参加して火の管理を担当してくれました。持ち込みの薪やスポーツの公園で集めた落ち葉を燃やすこと1時間、熾火もできていよい



よサツマイモの投入です。

今年はねっとり系の紅はるかとホクホク系の紅あずまの2種類で70本を準備しました。昨年は最適な焼き時間が分からず、自宅の庭で試し焼きをしたメンバーまでいましたが、今年は経験が蓄積されてスムーズに食べ頃を準備できました。11時を廻って落ち葉清掃が終わった人たちやイモを目指してきた子供連れ、さらに西小で練習していた少年野球の小学生まで登場し、大勢の希望者であつという間に配布終了となりました。遅れてきた子供に泣かれてしまったのが心残りでしたが、消防団の消防車に乗せて貰って笑顔に戻ったのでホッとしました。

この2年で手続きの仕方、竈やイモの準備の仕方などにノウハウが蓄積できてきました。なにより中心で動いている隊員たちが「皆さんのためには仕方なく・・・」という後ろ向きな気持ちではなく、「焼きイモ作るの楽しい！食べて貰うの嬉しい！」という精神で嬉々としているのが印象的です。来年も落ち葉清掃の後のホクホク焼きイモがあると良いですね。期待していますのでヨロシク(*^*)

コモア ライフスタイル カタログは、仲間・庭・趣味・風景・その他のコモアしおつか住民の共通する話題をピックアップすることで、住民間の意見交換を活性化し、魅力的な街を再生することを目指すツールです。年数回不定期に発行し、コモア内に掲示・回覧すると共に、ウェブ「コモアの風」へのアップを行います。ご興味のある方、ご意見のある方は街並み保全実行委員会編集担当[clsc.editorial@gmail.com]までお知らせください。